

## 介護事故およびヒヤリハットについて

ふるさとの丘では、介護事故予防および介護事故再発防止のために、各部署のスタッフからヒヤリとした介護内容および介護事故につながってしまったことなどを迅速に報告させています。そして、これらの報告書を各スタッフが共有し、介護事故防止に役立てております。

今回は、令和2年10月1日から令和3年3月31日の間において報告された介護事故(3件) および ヒヤリハット(85件)の内容の一部を開示させていただきます。

### □介護事故

#### [令和2年12月17日] —ショート

午前8:35頃、「ゴン」という音とご利用者の声が聞こえたので、介護職員がすぐに駆け付けたところ、認知症で歩行不安定な対象者が右側臥位の状態で倒れていました。落ちていたゴミを拾おうとした際、バランスを崩して転倒したと思われる。

すぐに介護職員が外傷等の確認をしましたが、出血等の外傷は見られませんでした。しかしご本人より右股下辺りに痛みの訴えがあった為、同日午前10時頃、病院受診をした結果、異常は見られず、クーリングで様子を見ることになりました。

#### ⇒ (改善)

歩行が不安定で今後も転倒リスクがあるので、足を痛がる場合は車椅子の利用を勧め、自立の妨げにならない程度に支援を実施していくことにしました。

#### [令和3年2月19日] —入所

午前5時30分頃、安否確認のため訪室すると、居室の床に点々と血痕が付着しているのを発見しました。ご利用者はベッドで横になっていたため直接確認したところ、「歩こうとした際にバランスを崩して転倒してしまった」とのことでした。また床にはレンズの割れた眼鏡が散乱していました。すぐに他の介護職員と外傷等の確認をしたところ、左顔面に出血した跡が見られました。

朝に出勤した看護職員と再度確認したところ、左目の周囲が腫れて内出血が見られましたので、湿布等で応急処置をしました。

同日午前10時頃、病院を受診し頭部CT等の検査をしましたが特に異常は見られず、患部をクーリングして帰所しました。

#### ⇒ (改善)

歩行が不安定なのに、立ち上がって歩こうとするので、今後リビングでは職員が直ぐに対応しやすい位置のテーブルに移動することと、居室ではセンサーマットを設置して動きを察知する様にしました。

### ■ヒヤリハット

#### [令和2年11月10日]—入所 【ベランダを徘徊】

午前9時35分頃、ご利用者がベランダへ徘徊してしまいました。ユニットの介護職員が複数利用者の介助等を行っていた際、別の介護職員が外のベランダを歩いている対象者を発見しました。

排泄介助およびシーツ交換をしている間に、引き戸の鍵を開けて、ベランダに出られたものと思われます。

#### ⇒ (改善)

徘徊の可能性があるご利用者は、所在確認をこまめにすると共に、複数の介護職員で見守りを強化する様にしました。

#### [令和3年2月19日] —デイサービス 【送迎 転倒】

午後4時28分頃、デイサービスのご利用者を自宅玄関までお送りした後、送迎車に戻ろうとした時、「ドン」という音がしたため振り向くと、玄関の前で尻もちをついていました。ドアを開ける際にバランスを崩して転んでしまったとの事でした。

すぐに外傷等の確認をしましたが、痛みや外傷等は見られませんでした。

#### ⇒ (改善)

ご利用者をご自宅までお送りした際には、玄関の中に入るまで確認した後、車に戻るようにしました。

#### [令和3年3月19日]—入所 【利用者同士トラブル】

午後3時40分頃、立位不安定なご利用者が他のご利用者に因縁をつけながら着衣の胸ぐらを掴んで立ち上がったものの、立位保持出来ずに床に崩れ落ちてしまいました。独り言を言いながら歩き廻るご利用者が煩わしくてイライラしたとの事でした。

すぐに看護職員が二人の外傷等確認をしましたが、特に異常は見られませんでした。

#### ⇒ (改善)

ご利用者は感情(怒り)コントロールが出来ない為、怪我人が出る前に精神的安定がはかれる様、専門医等の受診を検討することになりました。